

人権・平和・環境

あしだがわ

発行

南部生涯学習センター
 福山市沼隈町草深 1889 番地 6
 (沼隈支所 3 階)
 TEL 980-7714
 FAX 987-2382

【公民館】

泉 951-1557 熊野 959-0001 内浦 986-3535
 山手 951-9381 水呑 956-3943 常石 987-3839
 津之郷 951-1002 高島 956-0219 千年 987-3188
 赤坂 951-1001 鞆 982-2664 山南 988-1981
 瀬戸 951-1003 走島 984-2550 能登原 987-4460
 明王台 952-3511 内海 986-3722

【コミュニティー】

山手 951-5679
 瀬戸 951-1809
 鞆 982-1882

E-mail: nanbu-syougai-gakushuu@city.fukuyama.hiroshima.jp

福山市ホームページ (URL:<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/>) からキーワード「あしだがわ」で検索

人類の最高の宝は平和です!

〜ゲンが語る あの日のヒロシマ〜

なんぶじんけんもんだいこうえんかいじぎょう ほうこく
《南部人権問題講演会事業 報告》

8月20日(土)沼隈図書館で「人類の最高の宝は平和です!ゲンが語るあの日のヒロシマ」と題して、被爆者で漫画家の中沢啓治さんの講演会を開催しました。

中沢さんは、体調がすぐれない中、「私には話して伝える義務がある」とその目には力強いものがありました。「1945年8月6日、空襲のサイレンは鳴らなかった。中心が白、周りがブルー、外周りがオレンジと赤の玉がピカッと光り、一瞬のうちに辺りが真っ暗になった。私は塀が倒れたため、直接熱線に焼かれることはなかったが、家に帰る途中目にしたのは体中にガラスが刺さり、歩くたびにジャリジャリと音がする人、皮膚が垂れ下がり焼け爛れた人たち。幽霊の行進みたかった。黒い服の人は光を吸収してみんな焼け爛れていた。原爆が父、姉、弟を奪い、母は苦労しながら私を育ててくれた。絵を描くことが好きだったので中学を卒業して看板屋に入り、色彩・デッサンを徹底的に教わった。22歳の時に上京し漫画家になったが、その頃母が亡くなり、火葬をしたがほとんど遺骨がない状態で、母の骨まで奪った原爆に怒りがこみ上げ、原爆をテーマにした漫画を描こうと思った。『はだしのゲン』は自分自身の自叙伝でもある。二度と戦争の悲劇のない社会を作って欲しい。生きている限り自分の体・声を通して命の限り平和を訴えていきたい。」と話されました。



なんぶじんけんもんだいこうえんかいじぎょう し
《南部人権問題講演会事業 お知らせ》

おとぎぞうし 〜トーク&ライブ〜

〜未来に伝えたい 大切なこと〜



プロフィール

おのみちざいじゅう たけもと のぶや くらみつひろよし
尾道在住の竹本信也さん、倉光宏嘉さんによるフォークデュオです。サイモン&ガーファングルの楽曲のコピーを中心に、70~80年代のフォークソングやニューミュージックをレパートリーにしています。
 ふくやましな い 福山市内のコミュニティセンターや公民館等で反戦・反核・反差別をテーマに人権問題学習等の地域学習会でトーク&ライブを行っています。

とき 10月28日(金)

19:30~

ところ JA福山熊野支店

入場無料

駐車場あり

主催 熊野学区人権学習推進協議会

南部生涯学習センター

問い合わせ 南部生涯学習センター

980-7713

